

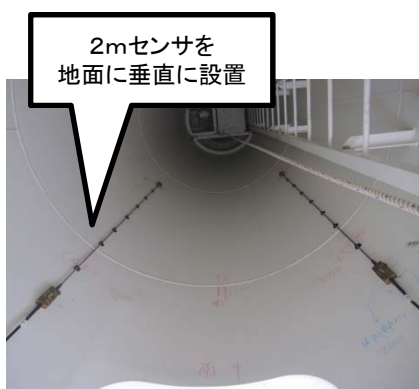
OSMOS技術協会は、S.H.M.(Structure Health Monitoring) 手法の一つであるOSMOS技術(Optical Strand Monitoring System)を日本に広め、構造物維持管理における問題を解決することを目的として設立された団体です。OSMOSニュースでは日本そして世界のS.H.M.関連の新技术、関連情報をお送りします。

### 再生可能エネルギー発電設備のモニタリングにOSMOSを適用

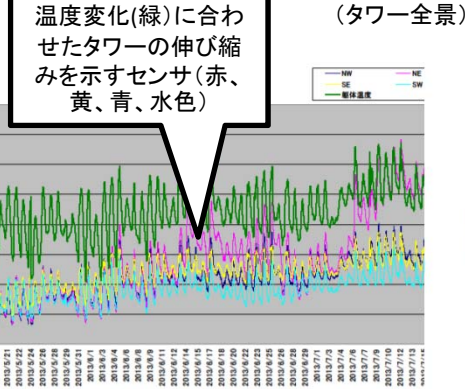
法政大学デザイン工学部 都市環境デザイン工学科 複合構造研究室(藤山知加子准教授)と、日本大学工学部 土木工学科 コンクリート工学研究室(岩城一郎教授、子田康弘准教授)が共同で実施している再生可能エネルギー発電設備(風力発電タワー)の構造評価システムの開発にOSMOSシステムが協力しています。

2013年6月より風力発電タワーにOSMOSセンサを設置し、風車稼働時及び停止時のひずみ挙動をリアルタイムで計測し、構造評価のためのデータを継続して取得しています。

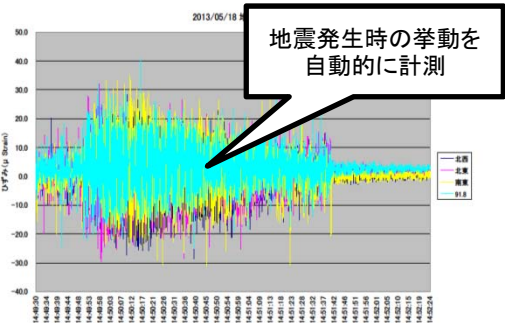
現在までに定常運転時のみならず、地震時、台風通過時などの挙動が自動的に計測されています。



(タワー内に設置したOSMOSセンサ)



(時系列のひずみ波形)

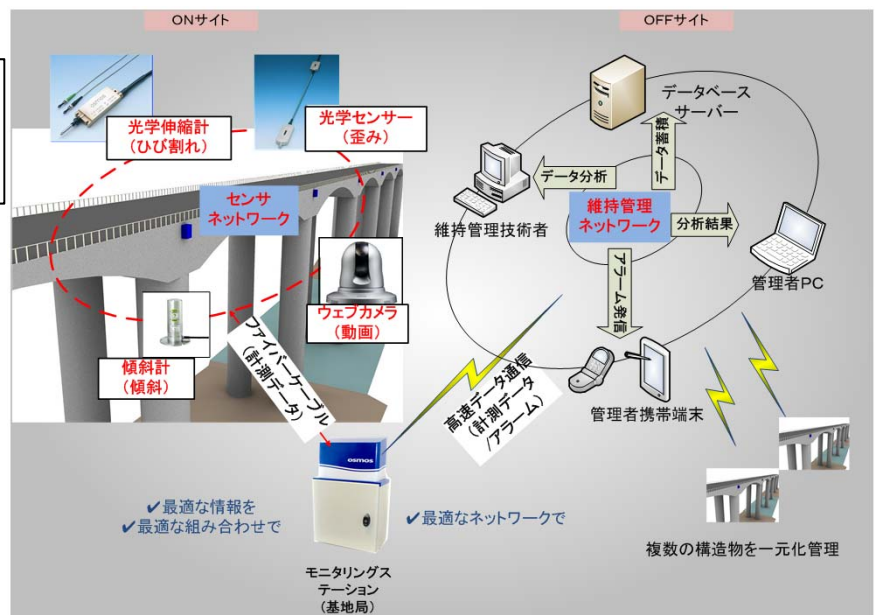


(地震発生時のひずみ波形)

### OSMOSモニタリングによるスマートメンテナンスのご紹介

#### 特徴

- ◆あらゆる構造物の全体的な挙動を把握できるOSMOS光ファイバセンサを使用。
- ◆安定した精度で、動的挙動も測定可能。
- ◆ノイズの心配がなく、耐久性に優れ、厳しい屋外条件の使用に最適。
- ◆シンプルなシステムが低価格でのモニタリングを実現。
- ◆設置からデータ分析まで全てサポートあり。機器のレンタルも可能。
- ◆世界に豊富なモニタリング実績あり。国内でも過去10年間に約170件の実績あり。



最新の適用事例は  
弊会HPをご覧ください。  
<http://www.osmos.jp/>

**osmos 技術協会**

Integrated safety for structures

お問い合わせ先: OSMOS技術協会  
TEL: 045-682-8395 FAX: 045-682-8809  
E-mail: kyokukai@osmos.jp